



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL <https://owill.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉井 健一 TEL 03 (5772) 4488
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	16,498	9.6	614	4.7	571	△3.6	381	△7.9
2022年3月期第2四半期	15,055	—	586	60.3	593	57.6	414	68.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 460百万円 (3.3%) 2022年3月期第2四半期 445百万円 (34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	121.21	—
2022年3月期第2四半期	131.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	11,970	4,077	33.1	1,258.48
2022年3月期	10,521	3,765	35.0	1,168.75

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,963百万円 2022年3月期 3,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	6.0	917	11.0	917	10.8	600	4.3	190.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	3,150,000株	2022年3月期	3,150,000株
2023年3月期2Q	304株	2022年3月期	304株
2023年3月期2Q	3,149,696株	2022年3月期2Q	3,149,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、ワクチン接種の進展に伴い行動制限が緩和され、社会経済活動に回復の動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格や原材料価格の高騰、米国の金利上昇による急激な円安の進行等により、景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、行動制限の緩和による人出の回復によって消費に持ち直しが見られるものの、原材料価格や物流費の上昇に加えて、消費者の節約志向の高まりを受け、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力カテゴリーである食品副原料、乳製品、農産物加工品の販売数量の増加に加えて、米国子会社で展開する業務用ヒーターの販売台数の増加により、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,498,816千円（前期比9.6%増）となりました。また、売上高の増加に伴って売上総利益が前期比で増加した結果、営業利益は614,283千円（前期比4.7%増）となりました。しかしながら、営業外費用で為替差損を計上したことにより、経常利益は571,596千円（前期比3.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は381,788千円（前期比7.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<卸売事業>

清涼飲料市場においては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展に伴い人出が回復したことに加えて、夏場の猛暑の影響により出荷数量は前期比で増加いたしました。原材料価格や物流費の上昇を受け、飲料メーカー各社は一部商品を値上げして利益確保に取り組んでいるものの、引き続き、円安や原材料価格の高騰などにより、今後の市場環境は不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。主力カテゴリーである食品副原料、脱脂粉乳・バターなどの乳製品、茶類や果汁・ピューレ類などの農産物加工品の販売数量が前期比で増加したことから、卸売事業の売上高は16,463,162千円（前年比9.7%増）となりました。

<製造販売事業>

安心・安全な商品の提供を第一に、美味しさと素材の良さにこだわったアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品の提供に努めてまいりました。主要顧客先からの受注回復に加えて、新規顧客先からのカップアイスの受注が増加したことから、製造販売事業の売上高は401,792千円（前期比32.4%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態の分析

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,375,843千円増加し、10,447,910千円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ72,866千円増加し、1,522,283千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,448,710千円増加し、11,970,194千円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,083,494千円増加し、6,394,094千円となりました。主な要因は、買掛金、未払法人税等の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ52,992千円増加し、1,498,687千円となりました。主な要因は、長期リース債務の増加によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,136,486千円増加し、7,892,782千円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ312,223千円増加し、4,077,411千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年5月10日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,775,813	1,753,267
受取手形	87,066	107,021
売掛金	4,184,037	5,403,089
商品及び製品	1,506,790	1,777,981
未着商品	1,060,078	640,567
原材料及び貯蔵品	51,912	97,968
未収入金	122,173	237,617
その他	330,761	480,135
貸倒引当金	△46,565	△49,738
流動資産合計	9,072,067	10,447,910
固定資産		
有形固定資産	376,916	478,341
無形固定資産	4,075	3,696
投資その他の資産	1,068,424	1,040,245
固定資産合計	1,449,416	1,522,283
資産合計	10,521,483	11,970,194
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,071,470	5,039,450
1年内返済予定の長期借入金	764,608	782,180
未払金	171,923	177,519
未払法人税等	163,851	171,996
賞与引当金	44,004	38,207
その他	94,742	184,741
流動負債合計	5,310,599	6,394,094
固定負債		
長期借入金	1,376,909	1,348,759
資産除去債務	10,658	10,707
その他	58,127	139,220
固定負債合計	1,445,695	1,498,687
負債合計	6,756,295	7,892,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	2,712,605	2,946,359
自己株式	△259	△259
株主資本合計	3,368,209	3,601,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,627	235,295
繰延ヘッジ損益	12,659	16,663
為替換算調整勘定	50,714	109,894
その他の包括利益累計額合計	313,001	361,853
非支配株主持分	83,977	113,595
純資産合計	3,765,188	4,077,411
負債純資産合計	10,521,483	11,970,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	15,055,063	16,498,816
売上原価	13,352,648	14,765,004
売上総利益	1,702,414	1,733,812
販売費及び一般管理費	1,115,551	1,119,529
営業利益	586,863	614,283
営業外収益		
受取利息	416	356
受取配当金	4,280	4,648
受取手数料	3,163	2,636
補助金収入	5,466	1,384
その他	5,729	1,342
営業外収益合計	19,056	10,368
営業外費用		
支払利息	4,180	4,521
為替差損	8,385	48,417
その他	114	117
営業外費用合計	12,681	53,055
経常利益	593,238	571,596
特別利益		
固定資産売却益	3,096	—
為替換算調整勘定取崩益	13,226	—
特別利益合計	16,322	—
税金等調整前四半期純利益	609,561	571,596
法人税、住民税及び事業税	180,696	167,601
法人税等調整額	6,867	9,867
法人税等合計	187,563	177,469
四半期純利益	421,997	394,126
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,480	12,338
親会社株主に帰属する四半期純利益	414,516	381,788

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	421,997	394,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,283	△14,332
繰延ヘッジ損益	△4,576	4,003
為替換算調整勘定	△5,212	76,460
その他の包括利益合計	23,493	66,131
四半期包括利益	445,490	460,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	437,106	430,640
非支配株主に係る四半期包括利益	8,384	29,618

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	609,561	571,596
減価償却費	20,873	24,174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50,312	3,172
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,968	△5,796
受取利息及び受取配当金	△4,696	△5,004
支払利息	4,180	4,521
為替差損益(△は益)	△668	△21,124
固定資産売却益	△3,096	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	△13,226	—
売上債権の増減額(△は増加)	△680,377	△1,168,069
棚卸資産の増減額(△は増加)	148,355	106,736
未収入金の増減額(△は増加)	9,817	△115,444
前渡金の増減額(△は増加)	△20,244	△114,890
仕入債務の増減額(△は減少)	451,012	919,829
未払金の増減額(△は減少)	△12,066	6,412
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,963	3,759
前受金の増減額(△は減少)	597	△7,753
有償支給取引に係る負債の増減額(△は減少)	19,584	51,708
その他	△26,457	5,500
小計	538,466	259,328
利息及び配当金の受取額	4,318	5,725
利息の支払額	△4,216	△4,659
法人税等の支払額	△72,847	△161,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	465,720	99,324
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,816	△21,321
有形固定資産の売却による収入	3,405	—
無形固定資産の取得による支出	△1,480	—
貸付金の回収による収入	—	30,000
差入保証金の差入による支出	△878	△21,697
差入保証金の回収による収入	134	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,635	△13,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△465,154	△410,578
リース債務の返済による支出	△4,520	△7,233
配当金の支払額	△141,690	△148,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311,364	△165,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,537	57,043
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	140,257	△22,546
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,313	1,775,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,050,571	1,753,267

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,911,733	143,330	15,055,063	—	15,055,063
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100,251	160,230	260,481	△260,481	—
計	15,011,984	303,560	15,315,544	△260,481	15,055,063
セグメント利益又は 損失	590,184	△5,184	585,000	1,863	586,863

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,863千円は、セグメント間取引消去1,863千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,259,797	239,018	16,498,816	—	16,498,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	203,365	162,773	366,138	△366,138	—
計	16,463,162	401,792	16,864,954	△366,138	16,498,816
セグメント利益	618,148	917	619,065	△4,782	614,283

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,782千円は、セグメント間取引消去△4,782千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。